



2025 年度 薬剤部業績

【執筆】

(1) 論文

論文、症例報告（英文）

1. Aoki A, Shibata K, Hasumi K, Nobe K. SMTP-44D prevents negative symptoms of diabetic neuropathy by inhibiting sciatic nerve apoptosis. *J Pharmacol Sci.* 2025;159(1):25-34.
2. Sakama R, Nagao M, Tajima M, Takano M, Yoshikawa M, Sato H, Sugiyama E. Development and Stability of a New Transdermal Formulation of Pregabalin for Skin Permeation. *Biol Pharm Bull.* 2025;48(11):1708-1714.
3. Nakano R, Ikeda R, Yamazaki Y, Munetomo-Aoki S, Morinaka H, Abe S, Isobe H, Hosonuma M, Kamijo S, Kaizaki-Mitsumoto A, Numazawa S. Paternal exposure to methylphenidate causes behavioral abnormalities in grandchildren. *J Toxicol Sci.* 2025;50(9):445-457.
4. Hirasawa Y, Isobe J, Hosonuma M, Tsurui T, Baba Y, Funayama E, Tajima K, Murayama M, Narikawa Y, Toyoda H, Shida M, Sasaki A, Maruyama Y, Amari Y, Mura E, Suzuki R, Iriguchi N, Ishiguro T, Ohkuma R, Shimokawa M, Ariizumi H, Kubota Y, Horiike A, Sambe T, Uchida N, Wada S, Kobayashi S, Kiuchi Y, Kuramasu A, Yoshimura K, Tsunoda T. Veillonella and Streptococcus are associated with aging of the gut microbiota and affect the efficacy of immune checkpoint inhibitors. *Front Immunol.* 2025 May 22;16:1528521.
5. Narikawa Y, Kuramasu A, Hosonuma M, Murayama M, Funayama E, Sasaki A, Baba Y, Toyoda H, Isobe J, Tajima K, Nakashima R, Sasaki A, Maruyama Y, Yamazaki Y, Shida M, Tsurui T, Hirasawa Y, Ariizumi H, Ishiguro T, Suzuki R, Ohkuma R, Kubota Y, Sambe T, Tsuji M, Wada S, Horiike A, Kobayashi S, Tsunoda T, Kobayashi S, Kobayashi H, Oguchi T, Shimane T, Kiuchi Y, Yoshimura K. Inosine shapes PD-1 blockade responses and synergizes with dual PD-1/CTLA-4 immunotherapy to enhance antitumor immunity. *Cancer Immunol Immunother.* 2025 Aug 19;74(9):289.
6. Tajima K, Hosonuma M, Funayama E, Isobe J, Baba Y, Murayama M, Narikawa Y, Toyoda H, Tsurui T, Maruyama Y, Sasaki A, Amari Y, Yamazaki Y, Nakashima R, Shida M, Sasaki A, Sambe T, Wada S, Tsuji M, Kiuchi Y, Kobayashi S, Kuramasu A, Tsunoda T, Mori M, Koyanagi K, Yoshimura K. Combination therapy with levofloxacin and the probiotic *Clostridium butyricum* MIYAIRI 588 enhances immune checkpoint inhibitor efficacy. *Int J Cancer.* 2025 Sep 1;157(5):993-1005.
7. Ueno S, Tajima M, Saito K, Yoshikawa M, Isozaki T, Sato H, Sugiyama E. Comparison of Oral Antidiabetic Medications and Insulin Therapy for Glucocorticoid-Induced Hyperglycemia in Patients with Autoimmune Diseases. *J Clin Med.* 2025 Dec 5;14(24):8642.

8. Serizawa F, Taki I, Yamazaki T, Tagawa N, Arai C, Okada Y, Kamiya T, Sambe T, Nakamura A, Harada T, Hida N. How Children with Kawasaki Disease Take Acetylsalicylic Acid Mini-Tablets at Home for the Prescribed Period. *J Clin Med*. 2025 Dec 25;15(1):157.
9. Kobayashi M, Segami M, Wakabayashi H, Momo K. Assessment of off-label use of oral medications in pediatric patients and a novel approach to identify unmet needs in pediatric drug development. *Showa Med Univ J*. 2025;37(4):188-195.
10. Yamaguchi M, Sugita H, Inoue E, Saito H, Shimizu H, Kubota Y, Horiike A, Tsunoda T, Nawata S. Increased alanine aminotransferase level as a predictive marker of hand-foot syndrome in patients receiving capecitabine: A retrospective cohort study. *J Oncol Pharm Pract*. 2025 Oct 24:10781552251387668. Online ahead of print.
11. Isozaki H, Hattori H, Kusunoki Y, Tagawa N, Oshima Y, Moriya K, Takita H, Morohoshi H, Ryu K, Hida N, Sambe T, Shirato N, Momo K. Factors Influencing Induced Abortion in Women Aged 18-45 Years: A Nationwide Web-Based Questionnaire Survey in Japan. *Biol Pharm Bull*. 2026;49(4):753-758.
12. Hoshi A, Funakoshi H, Otoyama Y, Yoshida H, Momo K. Kampo medicine inducing drug-induced liver injury: A case report and systematic review. *Drug Discov Ther*. 2025 Jan;18(6):325-335.

論文、症例報告（邦文）

1. 島本一志, 田中絵里子, 中村彰子, 三井奈緒, 柳原麻里, 藤原久登. 「リハビリテーション薬剤」の認知度に関するアンケート調査. *リハビリテーション栄養*. 2025;9(2):225-234.
2. 高田昂輔, 岡田貴裕, 縄田修一. 多施設調査によるラムシルマブ投与後の尿蛋白定性検査 2+以上の増悪に関するリスク因子の検討. *日本腎臓病薬物療法学会誌*. 2025;14(3):403-410.
3. 中嶋宏太, 宗友咲子, 玉造竜郎. 救急外来での薬剤業務評価 初期診療を支える薬剤師の実践. *東京都病院薬剤師会雑誌*. 2026;75(2):16-19.

(2) 総説（特集、解説、記事等を含む）

1. 嶋村弘史, 戸村和希, 船越晴喜, 柏渕弓佳. 術前術後の不安を解消! 消化器周術期ケア 必修チェックポイント 12: 術前のポイント 薬剤管理 (中止薬剤, 置換薬剤). *消化器ナーシング*. 2025;30(6):19-25.

(3) 著書

1. 二村哲未 (分担執筆) .『腎薬マネジメントの知恵袋 エキスパートが教える腎臓病薬物療法の投与戦略』.竹内裕紀編著,「CKD-MBD:CKD-MBD の治療薬はCKD 病期によっても Ca,P,PTH などが異なるの?」,じほう,2025 年,pp.272-278.
2. 二村哲未 (分担執筆) .『知っておきたい 剤形別 調剤のコレなんだっけ?解決 TIPS』.深水啓朗・山本佳久・吉田直樹編著,「滅菌フィルターを通してはいけない薬剤は?」,南山堂,2026 年,pp.205-207.
3. 若林仁美,星茜,田川菜緒,森中遥香,小川泰葉,嶋村弘史,佐々木忠徳 (分担執筆) .『消化器疾患最新の治療 2025-2026』.山本博徳・瀬戸泰之・吉治仁志編,「巻末付録:主な消化器系薬剤一覧表」,南江堂,2025 年,pp.341-401.
4. 百賢二,吉川雅之 (分担執筆) .『知っておきたい 剤形別 調剤のコレなんだっけ?解決 TIPS』.深水啓朗・山本佳久・吉田直樹編著,「103:プレフィルド製剤のデバイスの違いは?」,南山堂,2026 年,pp.223-226.
5. 百賢二,吉川雅之 (分担執筆) .『知っておきたい 剤形別 調剤のコレなんだっけ?解決 TIPS』.深水啓朗・山本佳久・吉田直樹編著,「104:インスリン製剤の使用期限は?」,南山堂,2026 年,pp.227-229.
6. 百賢二,吉川雅之 (分担執筆) .『知っておきたい 剤形別 調剤のコレなんだっけ?解決 TIPS』.深水啓朗・山本佳久・吉田直樹編著,「105:血糖測定器にはどんな種類があるの?」,南山堂,2026 年,pp.230-231.

【発表】

学会発表 (口頭・ポスター発表, シンポジウム)

1. Ayaka Aoki,Keita Shibata,Keiji Hasumi,Koji Nobe.Preventive effect of SMTP-44D on negative symptoms of diabetic neuropathy.ASPET 2025 Annual Meeting,2025.04 (Portland)
2. 坂間利奈 (ポスター) ,永尾美智瑠,田島正教,高野雅嘉,吉川雅之,佐藤均,杉山恵理花.新規プレガバリン経皮吸収製剤の安定性の評価と院内製剤化の検討.日本薬剤学会第 40 年会,2025 年 5 月 (東京)
3. 坂木理 (口頭発表),田川菜緒,若林仁美,野村英里佳,富士貴弘,音山裕美,中島陽子,杉浦育也,市川雪,下間祐,打越学,吉田仁.B 型肝炎再活性化対策の問題点と対策.第 61 回日本肝臓学会総会,2025 年 6 月(東京)
4. 星茜 (ポスター) ,金正興,島本一志,綿貫めぐみ,服部憲路,百賢二.腫瘍崩壊に伴う抗利尿ホルモン不適切分泌症候群を発症した全身性免疫グロブリン軽鎖アミロイドーシスの症例.第 18 回日本緩和医療薬学会年会,2025 年 6 月(千葉)

5. 島本一志 (ポスター), 星茜, 竹中桃子, 金正興, 島田翔太郎, 服部憲路, 嶋村弘史. ベネトクラクス/アザシチジン併用療法にて腎機能低下をきたした症例. 第 18 回日本緩和医療薬学会年会, 2025 年 6 月 (幕張)

6. 中山華 (ポスター), 嶋村弘史, 大島有貴, 細川琴実, 岡田貴裕, 大城真理奈, 中谷香織, 戸村和希, 若林仁美, 吉田仁. 昭和大学附属 8 病院における消化性潰瘍治療薬のフォーミュラリ策定. 医療薬学フォーラム 2025 第 33 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2025 年 6 月 (旭川)

7. Kohei Tajima (口頭発表), Masahiro Hosonuma, Eiji Funayama, Junya Isobe, Yuta Baba, Hitoshi Toyoda, Midori Shida, Toshiaki Tsurui, Aya Sasaki, Rie Nakashima, Takuya Tsunoda, Atsuo Kuramasu, Kazuo Koyanagi, Kiyoshi Yoshimura. Combination of LVFX and CBM588 Enhances Immune Checkpoint Inhibitor Efficacy via CD8+ T Cells. 第 29 回日本がん免疫学会学術総会, 2025 年 7 月 (愛知)

8. 平出美紀 (ポスター), 金森捷太, 徳留真優, 内藤結花, 森伸晃, 杉浦育也, 嶋村弘史. 穿刺困難な腹水貯留患者のテイコプラニン初期投与設計を行った一例. 日本病院薬剤師会関東ブロック第 55 回学術大会, 2025 年 8 月 (茨城)

9. 山口芽衣 (ポスター), 中嶋宏太, 船越晴喜, 斎藤祥, 広本昌裕, 茂木健太郎, 山下剛史, 有吉朋丈, 五藤哲, 島本一志. 食道がん患者の腫瘍随伴症候群による疼痛に対し薬剤師が疼痛管理に寄与した一例. 日本病院薬剤師会関東ブロック 第 55 回学術大会, 2025 年 8 月 (茨城)

10. 栗原竜也 (シンポジスト), 嶋村弘史, 縄田修一, 田中克巳. 3. 改定コアカリキュラムにおける臨床薬学教育－実務実習の深化を図る臨床科目－. 日本病院薬剤師会関東ブロック第 55 回学術大会, 2025 年 8 月 (茨城)

11. 花房慶太 (ポスター), 山本和弘, 杉沢諭, 小田道子, 服部亜紀, 沖野和磨, 稲本淳子. 精神科救急病棟においてうつ病患者を対象とした心理社会的治療プログラムの効果. 第 33 回日本精神科救急学会学術総会, 2025 年 9 月 (群馬)

12. 仁尾祐太 (ポスター), 赤川圭子, 内倉健, 大戸祐治, 柏原由佳, 久知良礼美, 越塚宏美, 古屋宏章, 佐伯美沙, 嶋村久美子, 舘野円花, 徳留真優, 中山華, 縄田修一, 松崎あい理, 嶋村弘史, 百賢二. 臨床薬剤師が実践する高齢者施設における個別・集団指導の評価. 第 35 回日本医療薬学会年会, 2025 年 11 月 (神戸)

13. 赤川圭子 (ポスター), 嶋村久美子, 光本英雄, 村田悠斗, 百賢二, 佐々木忠徳, 嶋村弘史. 外来患者に対するポリファーマシー改善のための昭和医科大学病院における取り組み～同種同効薬の安全使用に向けて～. 第 35 回日本医療薬学会年会, 2025 年 11 月 (兵庫)

14. 磯部順哉（ポスター）,平澤優弥,倉増敦朗,細沼雅弘,鶴井敏光,豊田仁志,馬場勇太,田島康平,船山英治,志田みどり,村英美子,鈴木梨沙子,入口菜々,石黒智之,大熊遼太朗,下川雅弘,有泉裕嗣,久保田祐太郎,和田聡,角田卓也,堀池篤,吉村清.高齢者のがん薬物療法における治療効果予測因子としての腸内細菌の検討.第 35 回日本医療薬学会年会,2025 年 11 月(兵庫)

15. 高久智妃（ポスター）,岡田貴裕,金正興,星茜,村英美子,大熊遼太朗,堀池篤,角田卓也,嶋村弘史.S 状結腸がんに対する FOLFOX 療法により SIADH (抗利尿ホルモン不適合分泌症候群) を発症した一例.第 35 回日本医療薬学会年会,2025 年 11 月(兵庫)

16. 山崎勇輝（ポスター）,岡田貴裕,木村英晃,斎藤義夫,須永登美子,竹野敏彦,坪谷綾子,原田文也,森田智子,岩尾一生.医歯薬連携による薬剤関連顎骨壊死の副作用報告制度の構築を目的とした病院診療所薬剤師に対するアンケート調査.第 35 回日本医療薬学会年会,2025 年 11 月(神戸)

17. 嶋村弘史（大会長講演）.薬剤師の生きる道～2025 年超高齢社会の腎に挑む～.第 19 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会,2025 年 11 月（東京）

18. 二村哲未(ポスター),高橋伸幸,吉川雅之,嶋村弘史.透析導入患者への薬剤総合評価調整加算取得の取り組み,第 19 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会,2025 年 11 月（東京）

19. 山口天士（ポスター）,出口智一,矢嶋宣幸,稲垣貴士,櫻井康亮,守屋賀奈絵,高橋伸幸,田中広紀.リウマチ性疾患患者における ST 合剤予防投与の実態調査.第 35 回日本医療薬学会年会,2025 年 11 月（神戸）

20. 稲垣貴士（ポスター）,鈴木康介,金正興,星茜,佐々木陽平.服部憲路,縄田修一,維持血液透析患者のフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ芽球性 白血病に対するダサチニブによって重篤な胸水を発症した一例.第 35 回日本医療薬学会年会,2025 年 11 月(神戸)

21. 坂間利奈,（ポスター） 飯野凜,杉山恵理花,田川菜緒,齊藤清美,田島正教,佐藤均.処方薬服用後の母乳のタイミングと乳児薬物曝露量に関する情報構築の検討.第 34 回日本医療薬学会年会,2025 年 11 月（神戸）

22. 西村有希(ポスター),倉田知光,藤城雅也,岩瀬万里子,柏渕弓佳,小林莉紗,新屋光一朗,龍家圭,三邊武彦,木内祐二,小口達敬.スピルリナの CYP3A 阻害を介する薬物相互作用の検討.第 46 回日本臨床薬理学会学術総会.2025 年 12 月(東京)

23. 島本一志（シンポジスト）.緩和ケアにおける多職種連携とチームアプローチのブラッシュアップ～薬剤師の立場から～.日本臨床麻酔学会第 45 回大会,2025 年 12 月（名古屋）

24. 青木悟（口頭発表）, 詫間章俊, 岩本麻絵, 坂井安希子, 本里彩莉咲, 小泉章子, 田中克巳. 高齢入院患者における夜間転倒と睡眠薬使用の実態. 第 20 回東京都病院学会, 2026 年 2 月（東京）

25. 詫間章俊（口頭発表）, 青木悟, 岩本麻絵, 坂井安希子, 本里彩莉咲, 小泉章子, 田中克巳. 抗菌薬適正使用に向けた取り組み: AUSC による分析. 第 20 回東京都病院学会, 2026 年 2 月（東京）

26. 嶋村久美子（ポスター）, 仁尾祐太, 赤川圭子, 大戸祐治, 越塚宏美, 佐伯美沙, 杉下琴実, 田中広紀, 徳留真優, 中山華, 松崎あい理, 吉川雅之, 嶋村弘史, 百賢二. 臨床薬剤師による高齢者施設における個別・集団指導の評価 第二報. 日本薬学会第 146 年会, 2026 年 3 月（大阪）

27. 吉川雅之（ポスター）, 中山華, 若林仁美, 永田未希, 松崎あい理, 中村彰子, 古屋宏章, 内倉健, 百賢二, 嶋村弘史, 森伸晃, 時松一成, 田中克巳. 医療ビッグデータを用いたインフルエンザ治療薬のフォーミュラ策定. 日本薬学会第 146 年会, 2026 年 3 月（大阪）

28. 磯部順哉（ポスター）, 平澤優弥, 倉増敦朗, 細沼雅弘, 鶴井敏光, 豊田仁志, 馬場勇太, 田島康平, 船山英治, 志田みどり, 村英美子, 鈴木梨沙子, 入口菜々, 石黒智之, 大熊遼太郎, 下川雅弘, 有泉裕嗣, 久保田祐太郎, 和田聡, 角田卓也, 堀池篤, 吉村清. 高齢者のがん薬物療法における治療効果予測因子としての腸内細菌の検討. 日本薬学会第 146 年会, 2026 年 3 月（大阪）

29. 稲垣貴士（口頭発表）, 金正興, 星茜, 里美貴, 八島秀明, 荒木拓也, 山本康次郎, 佐々木陽平, 白井綾乃, 長尾和紀, 綿貫めぐみ, 服部憲路, 嶋村弘史. フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ芽球性白血病に対するダサチニブ内服中に胆嚢炎が生じた一例: ダサチニブの血中濃度の影響. 第 15 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2026, 2026 年 3 月（福岡）

30. Kenji Momo（ポスター）, Mana Okumo, Haruki Funakoshi, Jan Dominik Kampmanne, Abdul Rashid Qureshi, Bengt Lindholm. Prescribing patterns and potential medication-associated CKD progression in Japan: analysis of a large claims database. World Congress of Nephrology 2026, 2026 年 3 月（横浜）

31. 中村妃奈子（ポスター）, 青木彩華, 中谷香織, 杉沢諭, 金正興, 島本一志, 嶋村弘史. 筋層浸潤性膀胱癌に対する Dur + GC 療法において推算 Ccr に基づく用量設定が重篤な骨髄抑制を招いた 1 例. 第 15 回レジデントフォーラム, 2026 年 3 月（東京）

その他（セミナー、講演会での発表）

1. 吉川雅之（セミナー）．地域包括ケアシステムにおける薬物治療学 ～薬剤師が実践する疾病管理～ シリーズ 2 心不全. 昭和医科大学薬学部生涯研修プログラム. 2025 年 9 月 (Web)
2. 吉川雅之（講演会）．心不全のトレーシングレポート保険薬局と病院薬剤部の薬薬連携. Step up Web Seminar テーマ：薬薬連携. 2025 年 11 月 (Web)
3. 星茜（セミナー）．経口抗がん薬における患者指導の工夫と実践. 第一三共エスファ社社内研修会. 2025 年 11 月 (web 開催)
4. 星茜（講演会）．薬剤師外来・トレーシングレポートで保険薬局と協働して対応した症例 ①昭和医科大学病院における事例報告. 2025 年度 昭和医科大学 4 病院合同がん化学療法連携研修会. 2025 年 11 月 (web 開催)
5. 星茜（セミナー）．経口抗がん薬における患者指導の工夫と実践. 第一三共エスファ社主催がん薬物療法 Web セミナー. 2025 年 12 月 (東京スタジオ第 4 スタジオより web 開催)
6. 芹澤風香（口頭発表）, 滝伊織, 山崎太義, 田川菜緒, 新井千恵, 岡田祐樹, 神谷太郎, 三邊武彦, 中村明弘, 原田努, 肥田典子. 川崎病患儿のアセチルサリチル酸ミニタブレットの退院後の服薬実態調査. 第 413 回昭和大学学士会例会 2025 年 12 月 (昭和医科大学)
7. 吉川雅之（セミナー）．病院でよくみる感染症― 臨床研修薬剤師が押さえるポイント ―. 2025 年度 臨床研修薬剤師集合研修. 2026 年 1 月 (昭和医科大学)

【受賞】

1. Sakiko Munetomo-Aoki : 2025 年度日本毒性学会 田邊賞 (2025 年 7 月)